

月刊

立川と語ろう 立川に生きよう

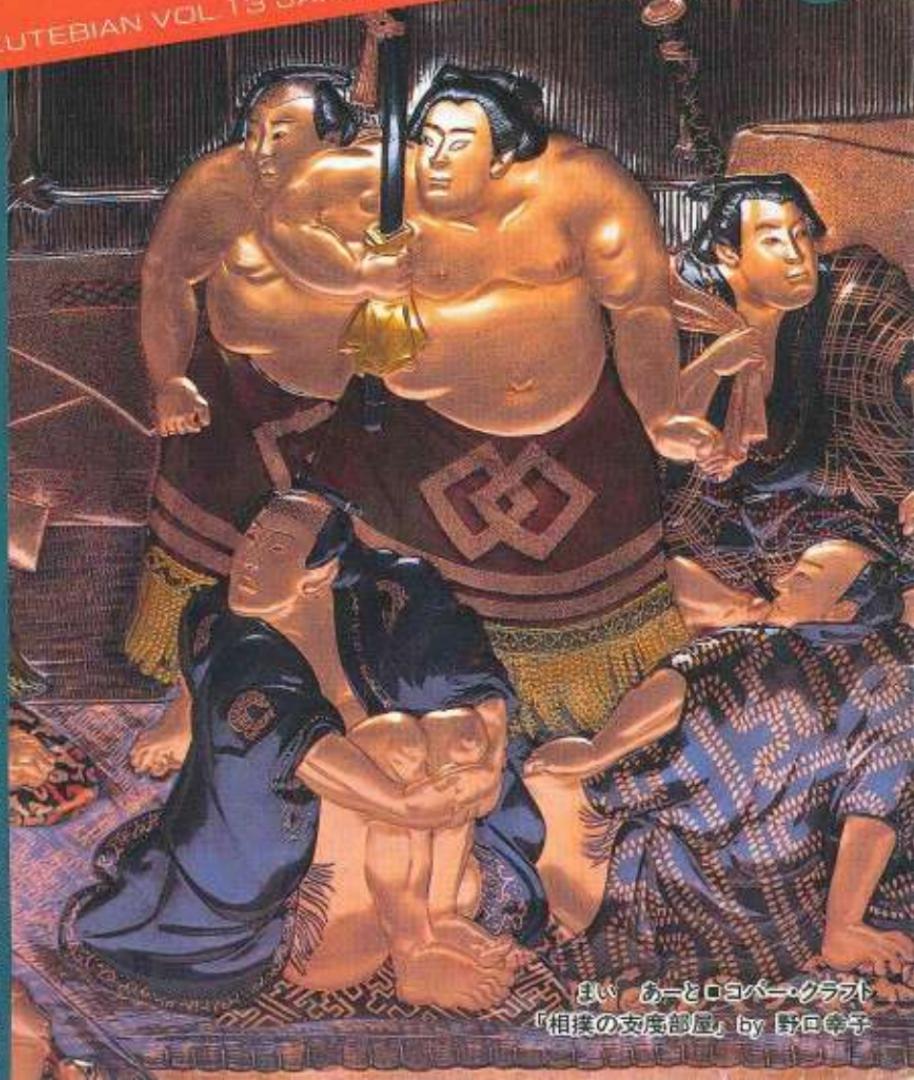
えくとびあん

(EKUTEBIAN VOL 13 JANUARY 1995 EKUTEBIAN)

1

ベスト立川人・展'95開催

平成3年1月13日～18日 午前10時～午後5時
12月18日は午後3時閉場
立川駅ビル3階「エキビルギャラリー」



まい あととロコバー・クラフト
「相撲の支度部屋」 by 野口幸子



あら井鮓（曙町）の暖簾が立川に掲げられて37年。鮓屋は嫌だ、サラリーマンになるんだと決めていた新井康夫さんが、父徳衛さんの跡を継いで17年が過ぎた。店が忙しいからと大学を休学して手伝ったのがきっかけであると言う。爾来、素材へのこだわりは天を知ることなく、ついには鮓さえも冷凍から生の本鮓へ替えてしまうほど。「別々に食べるとわからないものでも、並べて、食べ比べると味の差は歴然なんです。冷凍と生、養殖のと天然の、輸入のと国産の、すべて味が違うんです」と言い切る。今回のメニューは大トロのにぎり。撮影当日の朝、魚河岸で自分で選んでセリ落とさせた生の黒鮓（ハワイ産）である。『鮓は素材が命』との康夫さんの信念こもる逸品、あらい鮓の大看板である。

撮影：井上義治

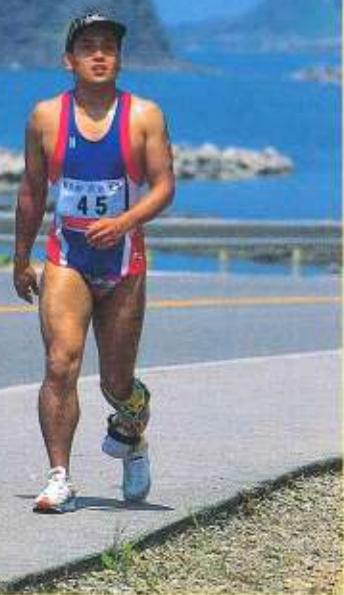


株式会社 三田花店
立川市錦町2-5-25 phone 24-4087
立川高島屋店・立川ルミネ店・小平市

新井康夫の 生の黒鮓 大トロのにぎり



◀義足を用いてトライアスロンに出場。内田充彦さん(緑町)



一日郵便局。タレントの橋川淳一さんは若葉町出身。



第38代ミス立川に輝いた田野愈奈美子さん(富士銀行立川支店)



立川国際友好協会で活躍する中国人留学生、雷明さん(緑町)



自家を食堂に開放。お袋の味を追求する森木美代子さん(緑町)



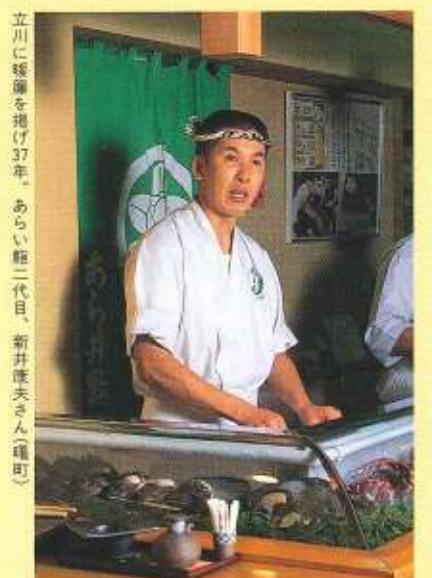
街の鼓動、鳴り止まず。

1995年も、立川は
『ベスト立川人・展』で幕を開けます。

新春吉例『ベスト立川人・展』も回を重ねて10回目。
これまでにご登場いただいた立川人は200名を越えましたが
10年を経ても、街の鼓動は鳴り止むことを知らず
今年もタチカワが誇る個性をこんなに発見しました。
えくてびあん精鋭の写真家がとらえた、脈打つ立川人の鼓動
会場でいっしょに感じてみませんか。

『ベスト立川人・展'95』

期間:平成7年1月12日(木)～18日(水)
午前10時～午後7時(初日・最終日は午後5時まで)
会場:立川駅ビル・ルミネ7F ウィルギャラリー



立川に櫻陣を掲げ37年。あらい龍二代目、新井康夫さん(緑町)



公募ストンドグラス展進級入賞。伊藤まみさん(富士見町)

わたしの 玉手箱

2.錦町・鳥海忠さんの「万年筆」

鳥海さんが愛用するモンブラン製の万年筆。一般には手に入りにくい貴重な銘柄も少なくない。一本一本のペン先には、それぞれ鳥海さんの書きぐせに合うよう調整されている。箱を開ける鳥海さんの、まるで親しい友人を紹介するかのような口調が印象的だった。

